

(提出締切：2018年6月8日(金)までに最終版を担任に提出)

## 工学部応用化学科 チャレンジシート

記入日：2018年

6月 7日

(担任教員： 神戸 )

1. 学籍番号	17XXXXXT	ふりがな	おうか たろう
		氏名	応化 太郎
2. 電話番号	自宅(緊急連絡先)	078 - XXX - YYYY	
	携帯	090 - -XXXX - YYYY	
3. メールアドレス	PC	XXXXXXXX@kobe-u.ac.jp	
	携帯	YYYYYYYYYY@docomo.ne.jp	
4. ギャップターム活動を実施しますか?	実施する / 実施しない		
5. 学外活動期間 (予定で可、 複数記載可能)	(1)2018年 7月 10日 ~ 2018年 7月 20日 (日数: 合計 11日) (2)2018年 6月 11日 ~ 2018年 9月 30日 (日数: 合計 111日) (3)2018年 6月 11日 ~ 2018年 9月 9日 (日数: 合計 90日)		
6. ギャップタームに計画している活動内容は何ですか (活動計画)	(1)	XXXXXXXXX 会社でのインターンシップに、課題解決型アクティブラーニング事業を通して参加	
	(2)	危険物取扱者試験(甲種)を受験	
	(3)	TOEICを受験	
7. その活動を通して修得/体験したいことは何ですか。 具体的に、(数値)目標などを記載してください。 (学修目標)	(1)	企業での活動を体験して、企業での活動がどのようなものであるか知識を深める。そして、将来の就職時に、自分にとってどのような会社が適しているのか、そのイメージをとらえるための良い経験としたい。	
	(2)	10月7日(日)の試験(兵庫)で <u>甲種の合格</u> を目指す	
	(3)	9月9日の試験で <u>目標スコア 750点</u> を目指す	

8. 成果のあるギャップ ターム活動にするため に、どのような準備を しますか(事前学修)	(1) XXXXXXXX 会社のホームページを通して、会社の商品ラインナップや、開発・研究内容について調査を行う。そして、インターンシップの現場で、企業の方に質問をする内容などを考えておく。  (2) 受験に先立ち、自分がその資格を有しているか単位取得状況の確認を行う。そして、出願方法や出願期間を調べて、申請書類の準備を行う。更には、参考書を購入して、勉強を行う。  (3) TOEIC 対策テキストを購入して、毎日勉強を行う。受験日の申請日を必ず確認して、申請を忘れないようにする。
9. 活動時に予想される 問題点や危険は何で すか?(危機管理)	企業でのインターンシップでは、機械や薬品等を扱う可能性があり、けがや事故の可能性が考えられる。  危険物資格や TOEIC の受験では、申請日が限定されている。受験勉強が過度にならない可能性がある。
10. 上記問題点をどの 様に解決しますか? (計画通りに行かなか ったときの対応、危機 回避)	企業でのインターンシップでは、企業の担当者の方の説明を十分に理解して、その指示に従って活動を行う。解らないことがある場合には、質問を行う。  危険物資格や TOEIC の受験では、申請日を予め調べて、忘れないようにする必要がある。勉強は、意識して、毎日少しずつ勉強するように心がける。
11. 今回の活動は、あ なたの将来の夢の実 現や人生観に対して、 どの様な効果、影響 があると思いますか? (波及効果)	企業でのインターンシップを行う事で、実際の仕事の現場を肌で感じ、就職活動時の参考としたい。  危険物資格や TOEIC は、自身の化学知識や英語力の向上に大きく役に立つ。
12. 加入している保険 名	(1) 学生教育研究災害傷害保険(学研災)+学研災付帯賠償責任保険・Bコース インターンシップ等賠償責任保険(インターン賠) (2) その他 ( )  (1),(2)のいずれかに○。(2)の場合は、保険名称等を記入して下さい。
13.その他	

補足:神戸 GCP、課題解決型インターンシップにおいて同等なチャレンジシートを作成する場合、1~5 および 6 に参加プログラム名を記載することで、7 以下の記載を省略することができます。

(提出締切：2018年6月8日(金)までに最終版を担当に提出)

## 工学部応用化学科 チャレンジシート

記入日： 年 月 日 (担任教員： )

1. 学籍番号		ふりがな	
		氏名	
2. 電話番号	自宅(緊急連絡先)		
	携帯		
3. メールアドレス	PC		
	携帯		
4. ギャップターム 活動を実施しますか？	実施する / 実施しない		
5. 学外活動期間 (予定で可、 複数記載可能)	(1)	年 月 日 ~ 年 月 日	(日数： 合計 日)
	(2)	年 月 日 ~ 年 月 日	(日数： 合計 日)
	(3)	年 月 日 ~ 年 月 日	(日数： 合計 日)
6. ギャップターム に計画している活 動内容は何ですか (活動計画)	(1)		
	(2)		
	(3)		
7. その活動を通し て修得/体験した ことは何ですか。 具体的に、(数値) 目標などを記載し てください。 (学修目標)	(1)		
	(2)		
	(3)		

(提出締切：2018年6月8日(金)までに最終版を担任に提出)

8. 成果のあるギャップ チーム活動にするため に、どのような準備を しますか(事前学修)	(1)
	(2)
	(3)
9. 活動時に予想される 問題点や危険は何で すか?(危機管理)	
10. 上記問題点をどの 様に解決しますか? (計画通りに行かなか ったときの対応、危機 回避)	
11. 今回の活動は、あ なたの将来の夢の実 現や人生観に対して、 どのような効果、影響 があると思いますか? (波及効果)	
12. 加入している保険 名	(1) 学生教育研究災害傷害保険(学研災)+学研災付帯賠償責任保険・Bコース インターンシップ等賠償責任保険(インターン賠) (2) その他 ( )  (1),(2)のいずれかに○。(2)の場合は、保険名称等を記入して下さい。
13.その他	

補足:神戸 GCP、課題解決型インターンシップにおいて同等なチャレンジシートを作成する場合、1~5 および 6 に参加プログラム名を記載することで、7 以下の記載を省略することができます。